

目黒区 一般廃棄物処理基本計画 (概要版)

～快適で誇りのもてる循環型のまち～



平成28年3月
目黒区

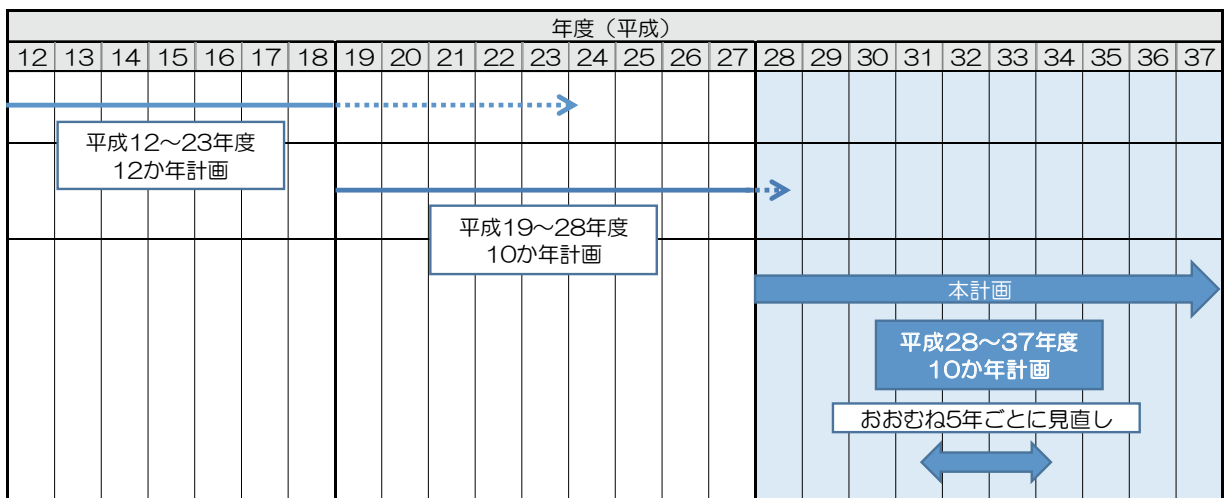
計画の概要

本計画の位置づけ

一般廃棄物処理基本計画は、国や都、東京二十三区清掃一部事務組合の関係計画との関連性を有するとともに、区の長期計画の補助計画の一つです。

計画期間と目標年次

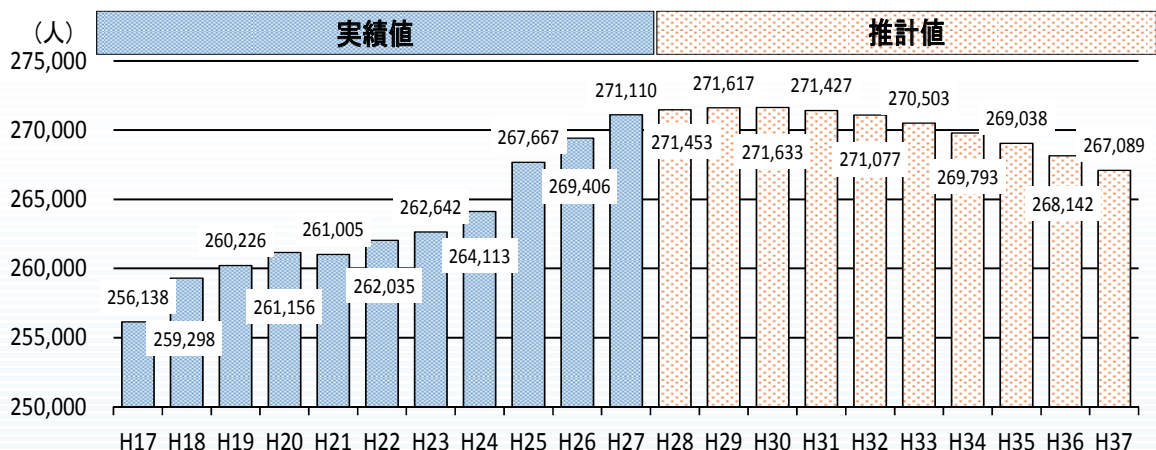
本計画は、平成28年度を始期とし、平成37年度を目標年次とする10年間を計画期間として策定します。



清掃・リサイクル事業を取り巻く現状と課題

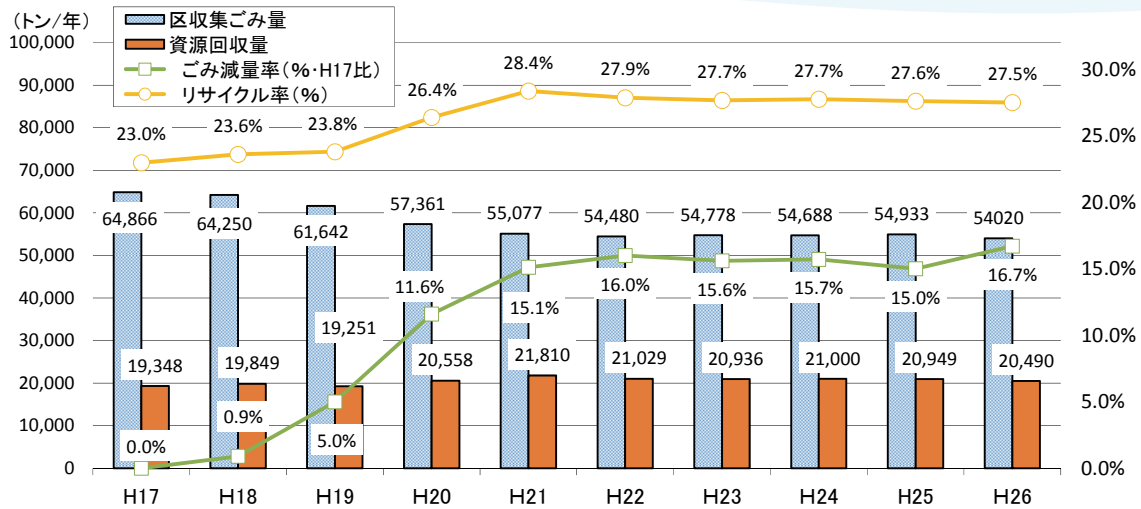
人口動態

過去10年間の人口（外国人を含む）の動態を見ると、目黒区の人口は増加傾向にあります。今後の動向については、本計画での推計では、平成30年をピークとして逡減する見込みとなっています。



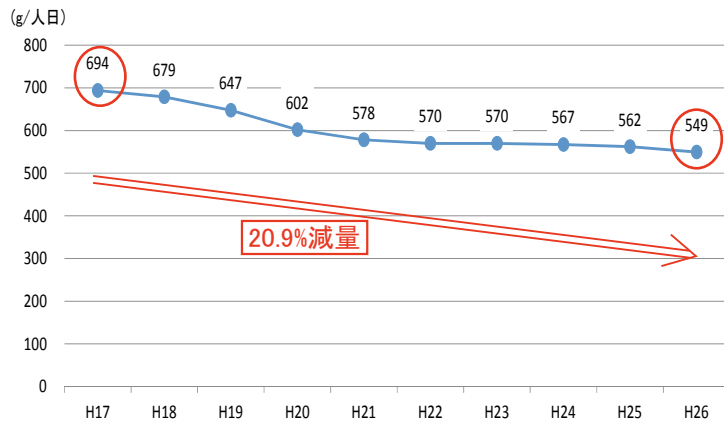
資源・ごみの量

人口が増加傾向にある中で、区収集ごみ量全体は逡減傾向にあります。

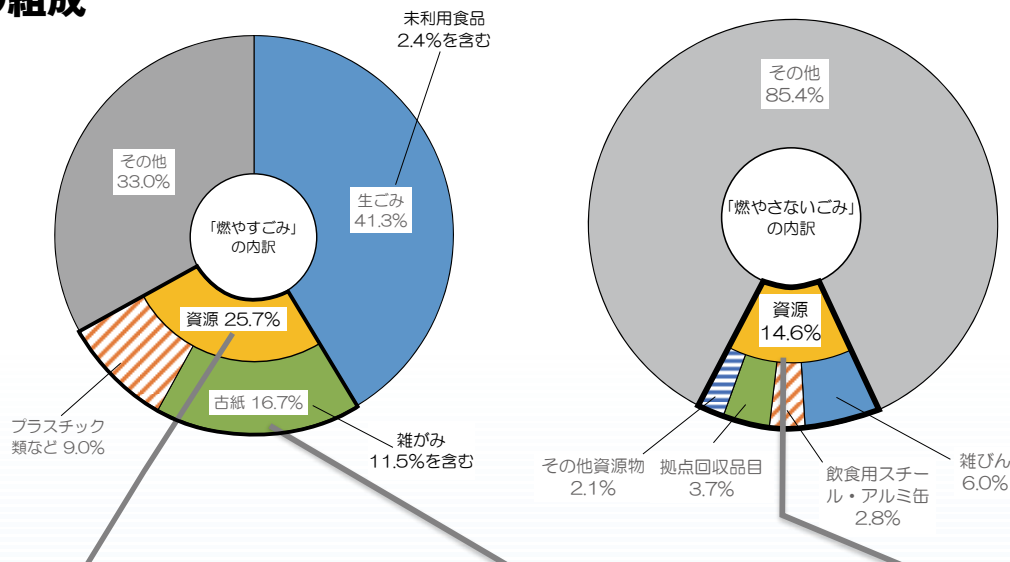


区民1人1日当たりごみ量

区民1人1日当たりごみ量は、年々少なくなっています。平成26年度は549gであり、平成17年度に比べて145g (20.9%) 少なくなっています。



ごみの組成



燃やすごみの中には、資源化できる品目が25.7%も含まれています。

雑がみを含む古紙は16.7%もあり、古紙の集団回収で収集可能であることの理解促進が必要です。

燃やさないごみの中には、資源化できる品目が、14.6%も含まれています。

※平成27年3月 家庭ごみ組成調査より

計画の体系

基本理念

区の基本構想の基本理念である「環境と共生する」、長期計画の基本目標である「環境に配慮した安全で快適なまち」を実現するため、「快適で誇りのもてる循環型のまちの実現」を本計画の基本理念としました。

目標

前計画では、「ごみ減量率」「リサイクル率」を目標に進めてまいりましたが、本計画においては、2Rの推進のもとに、区民一人ひとりが取り組みをイメージしやすい指標として、「ごみ減量率」に替わり「1人1日当たりごみ量」を新たに設定しました。

基本方針

基本理念を踏まえ、目標を達成するための4つの柱からなる基本方針を定めました。

施策

基本方針の4つの柱に対応した施策を展開します。このうち、目標達成に向けて重要な施策については、重点施策として取り組みます。

目黒区一般廃棄物処理基本計画の体系

